

授業概要

保育者が取り組む「保育の営み」とは、一体、どのようなものなのであろうか。その意義や目的、思想的変遷、幼稚園教育要領や保育所保育指針などに基づく保育内容、保育計画の在り方などについて考えていく。このような学習の底流には、絶えず子どもの成長を見守り観察・記録を続けながら、養護と教育が一体化された実践を積み重ねてきた先人の努力が存在する。このような人の営みの歴史的な変遷も重視した授業を通して、子どもにとって有意義な保育内容についての講義を進めていく。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	保育の意義・目的
第 3 回	子どもの発達と生活
第 4 回	保育内容の変遷
第 5 回	保育所保育指針と幼稚園教育要領
第 6 回	保育計画
第 7 回	幼稚園の保育の特質
第 8 回	保育園での保育の特質
第 9 回	保幼小の連携
第 10 回	子育て支援
第 11 回	保育の評価と記録
第 12 回	設定保育
第 13 回	現代の保育の課題と保育内容
第 14 回	保育者への道
第 15 回	学習のまとめ
第 16 回	筆記試験

到達目標

1. 保育内容総論の目的、意義、思想などに関する基本的な考え方を理解し説明している（知識・理解）。
2. 保育内容総論の現状や課題をふまえながら、小論文や口頭で表現している（思考・表現）。
3. 保育内容総論に関するグループ討議や発表に進んで参加しようとする（意欲・態度）。

履修上の注意

単位修得のためには、最低 10 回の出席（無遅刻・無早退であること）が不可欠となる。また、授業では、グループ協議・発表等を重視する。筆記試験（第 16 回目）は、「小論文」形式で出題する。

予習・復習

授業内容の深い理解、予習・復習のため授業時間外に「課題」を作成し提出する。

評価方法

学期末試験 70%、授業中に課す簡単な課題への回答 10%、レポート 10%、受講態度 10%

テキスト

テキストは使用せず、毎回の講義で必要な資料を配布する。次の参考書も活用してほしい。
『保育内容総論[新版]』（民秋言・千葉武夫・狐塚和江・佐藤直之 著）・北大路書房・1700 円＋税